

甫水会 会務報告(概要)

【2024年度事業報告】

はじめに

現在、東洋大学は、新たな中期計画「GRAND DESIGN 2025-2029」を創り上げ公表しました。その策定にあたり、学祖井上円了が思ったこと、願ったこと、誓ったことを検証し、その志を現在に焼き直し、それを元に今後の5年間、創立150周年までの13年間、そしてその先に、学校法人東洋大学とその設置校として、教育に、研究に、社会貢献において、何をなすべきか、何を大切にすべきかを考え、この計画を創り上げることでしよう。

また、教育・研究の質を向上させ、新たな時代を担う人材を育成するために、学部・学科の再編やキャンパスの移転を進めており、2027年度には、社会のニーズに答えるべく、川越キャンパスに3つ目の学部『環境イノベーション学部(仮称)』を設置すべく準備しています。

東洋大学甫水会は、1959年1月「子女の善意と知性の伸長、健康の保全等を通じ、大学に協力して学生生活の充実を図り、父母相互の親睦と連帯の責任感によって、子女の将来に希望と幸福をもたらすことを念願する」という趣旨をもって設立されました。甫水会は、東洋大学の掲げる目標及び事業を支援し、これまでと同様に大学との「協働」「連携」を図りながら、事業を展開していきます。

以下、2024年5月の評議員会で承認された事業計画に基づき、大学との協働及び連携の下で執行した実施概要を報告します。

I. 本部事業関係

1. 本部で実施する「諸会議及び行事」

(1) 評議員会

構成員 常任理事9名、全国54支部長54名、支部選出の評議員10名

会則第21条に基づき、第1回を2024年5月25日に次のとおり開催した。

① 評議員定数73名中、69名出席

② 議案として、2023年度事業報告および2024年度事業計画等について審議した。

第2回を2025年2月15日に対面およびWEBで実施した。

③ 評議員定数73名中、65名出席

④ 議案として、規定の変更および支部総会関連イベントの名称変更等について審議した。

協議事項として規定の変更および制定、支部総会出席に伴う交通費補助制度等について協議を行った。

(2) 理事会

構成員 常任理事9名、地区長理事10名

会則第8条に基づき、2024年4月13日に次のとおり開催した。

① 理事定数19名中、18名出席

② 議案として、2023年度事業報告および2024年度事業計画等について審議した。

第2回として、2024年11月15日に開催した。

③ 理事定数19名中、19名出席

④ 議案として、2024年度上期事業報告および2025年度事業計画等について審議した。

(3) 常任理事会

会則第9条に基づき、月1回の定例会議を開催し、業務を執行した。

① 2023年度第9回 常任理事会 2024年4月13日

② 2023年度第10回 常任理事会 2024年5月11日

③ 2024年度第1回 常任理事会 2024年6月15日

④ 2024年度第2回 常任理事会(メール) 2024年7月13日

- | | | | |
|---|------------|------------|-------------|
| ⑤ | 2024年度第 3回 | 常任理事会(メール) | 2024年 8月31日 |
| ⑥ | 2024年度第 4回 | 常任理事会 | 2024年 9月14日 |
| ⑦ | 2024年度第 5回 | 常任理事会 | 2024年10月12日 |
| ⑧ | 2024年度第 6回 | 常任理事会 | 2024年11月 9日 |
| ⑨ | 2024年度第 7回 | 常任理事会 | 2024年12月 7日 |
| ⑩ | 2024年度第 8回 | 常任理事会 | 2025年 1月11日 |
| ⑪ | 2024年度第 9回 | 常任理事会 | 2025年 2月15日 |
| ⑫ | 2024年度第10回 | 常任理事会 | 2025年 3月 8日 |

(4)常任理事会内委員会

今年度は、支部活性化、箱根駅伝担当のみ業務を執行した。

(5)役員選考委員会

会則第 6 条に基づき、全国 54 支部より選出し、次期役員候補者を選考するため、2025 年 1 月 11 日開催した。

(6)地区別支部長会議

会則第 39 条に基づき、甫水会本部主催で白山キャンパス他全国 6 地区会場において本部・支部活動の円滑な連携と地区の活性化を目的とし、2025 年 2 月 15 日に開催した。

(7)全国支部長研修会

本部主催のもと、次のとおり開催した。

日 時：2024 年 9 月 14 日

出席者：全国支部長(含代理)53 名

内 容：「甫水会諸規程集」及び「支部関係業務に関する取扱い」の説明、参加者によるグループディスカッションの実施、地区長・地区別支部長会議の開催場所等についての説明を行った。

(8)東洋大学懇談会での協働

大学主催による東洋大学懇談会の実施に際して、甫水会本部及び各支部が実施運営に協働(協力支援)することを本部事業として位置づけている。東洋大学懇談会の実施については、関東地区の各支部(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)の会員に対しては、学生が在籍する各キャンパス(白山、川越、朝霞、赤羽台)で学部別懇談会を実施した。大学教職員による履修成績、学生生活及び就職の支援体制については、WEB も利用して、個別面談を 6・9 月に実施した。関東地区以外の各支部の会員については、全国 16 会場にて地区別懇談会として大学と就職状況の説明及び大学からの講師による講演会を 6～7 月に実施した。

(9)会員の集い・就職フォーラム

学生の就職状況と就職活動に対する理解を深めることを目的とし、2024 年 11 月 10 日に開催した。午前中にはキャンパスツアーを開催。昼食時に食堂利用を可能とした。午後は、東洋大学管弦楽団の演奏、学長挨拶、就職講演会、卒業生パネラーによるパネルディスカッションを実施した。(来場者:1236 名/810 件)

2. 学生支援諸制度

(1)奨学生制度

① 家計急変者対象(従来の甫水会奨学金)

「奨学金学生規程に基づき、会員が不測の事故等で家計が急変し、修学が困難となった学生に対し、常任理事会において選考する。」

2024 年度については、申請がなく、採用はなかった。

② 経済支援奨学金

学生部より申請のあった対象学生 46 名へ大学と協議のうえ支給した。

@3 万円 X 6 ヶ月/名 (計 828 万円)

(2)学生の課外活動促進

① 学生の課外活動に係る支援及び表彰

学生部と連携し、顕著な活動が認められた学生団体および個人の活動に対し、大学からの特段の要請

に基づき表彰を行った。ボランティア表彰(18名 18万円)

② 文化系サークル活動促進援助

本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に関して、全国で行われる大会や発表会への参加等、地域における課外活動の促進を図ることを目的に援助を行った。

サークル援助金(20件 60万円)

③ 正課外教育活動参加促進援助

正課外教育について、全学的な関心と参加促進を図るべく、大学が指定するイベントに参加する学生に対しての支援を行った。[国際観光学部「ツーリズム EXPO ジャパン 2024」運営事務局のTシャツ作成等](約10万円)

④ 学生団体による応援・広報活動の支援

応援や広報活動等を行っている学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入等の援助を行った。[応援指導部:イベント横断幕製作費援助](3万円)

(3) 就職活動支援

予算規模を考慮して、経済的困窮学生に対象を限定し、オーダービジネススーツ購入補助を実施した。支援対象学生の選考が難しいことを踏まえ、奨学金受給者のうち大学から推薦された3年生(会員のみ:約260名)を対象とした。(168名利用 約400万円)

(4) 学生の食育支援

食育の一環として、全学生を対象とした学食支援を7月と11月に実施した。(約500万円)

(5) 東洋大学社会貢献センター学内講座甫水会援助制度

東洋大学社会貢献センター学内講座の実施に伴い、申請に基づき、広く奨励金を支給する。秋学期終了後に申請のあった受講者・資格合格者へ支給した。(約42万円)

(6) 弔慰金制度

「弔慰金規程」に基づき、不測の事故等で会員、会員の配偶者及び会員の子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金3万円を支給。春・秋学期合わせて21名に支給した。(計63万円)
能登半島地震被災者へは、お見舞金2万円を5名(計10万円)に支給した。

3. 甫水会費の徴収・支部運営費の交付

(1) 甫水会費の徴収

甫水会費は、1部学生については、大学に委託徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入者から個別の徴収を行った。

(2) 支部運営

① 在学生が確定する6月時点の支部会員数26,701名分に対して1人当たり1,000円を乗じ、会員が1,000名未満の支部については10万円を加算、さらに、会員数200名未満の支部について5万円を加算し、本部から運営費として総額33,245,000円を交付した。

② 支部運営費については、主に講演会、校舎見学等の支部開催事業(支部行事)に対して充当される。支部会員全体を対象とした支部主催行事で、就職説明会、文化・体育活動の応援会、演奏会、父母・保護者間の連携を密にするための研修会、交流会等を開催する場合、支部からの申請に基づき、行事毎に10万円の範囲内で年度2回を上限に援助をした。

申請支部の繰越金等を考慮し、常任理事会で援助金額について審議する予定ではあったが、2024年度については、見送った。(30件 約250万円)

4. 就職関係

就職関連講演会等の実施

本部または各支部で実施する就職関連講演会等行事については、東洋大学懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容の検討を行った。2年前から内定者インタビューを撮影し、支部での就職勉強会でも使える様、動画データを提供できるようにしている。

行事内容の策定及び講演者の選定については、父母等のニーズを考慮し、甫水会事務局を通じて大学における就職・キャリア支援部の意見及び推薦を踏まえ、実施した。

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に規定する「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1) 東洋大学懇談会および甬水会支部総会同日開催に伴う経費

大学主催による東洋大学地区別懇談会の実施に際し、甬水会本部と各支部が実施・運営に関して、2024年度も引き続き大学との協働(連携・支援・協力)体制で計画し、全同 16 会場で開催し、実施経費のうち会場費等を甬水会本部予算より支出した。

また、東洋大学懇談会と同日開催の支部においては、講演会の講師として教員を招き、甬水会講演会を開催した。

(2) 卒業記念フォトスポット

今年度も、卒業式(3月23日)に合わせ、担当部署と調整し、白山・赤羽台・朝霞・川越4キャンパスでの桜回廊フォトスポットを実施した。(約 600 万円)

(3) 全学的な行事に対する援助

4キャンパスにおける大学祭(白山祭(白山)、こもれび祭(川越)、霞祭(朝霞)、WELLB-FES(赤羽台))に対し援助金(220万円)、また、TOYO-MeW プロジェクトに対し援助金(350万円)を支給した。

(4) 学部行事等(ゼミナール単位での取組み含む)に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甬水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給した。[法学部長杯の表彰等](約 9 万円)

(5) 会長施策重点支援事業費

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を経て支出していく。(本年度は実績なし)

(6) 箱根駅伝応援パブリックビューイングを本部主催事業として計画したが、関東陸連からの開催不可の連絡があり中止となった。[2025年1月3日:TKP 東京駅大手町カファレンスセンター]

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する行事等に、甬水会代表者を派遣した。

2024年10月26日 平和祈念之碑に集う会(校友会)

2024年11月2日 哲学堂祭

2024年12月7日 「井上円了が志したものとは」表彰式

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施した。

(1) 甬水会本部発行物

① 新入生対象の「会員のしおり」-----年1回発行(2024年5月発行)

② 全会員対象の「会報東洋」-----年1回発行(2024年5月発行)

③ 本部役員及び支部長対象の「甬水会ジャーナル」----年2回発行(2024年4月・11月発行)

(2) 甬水会ホームページの運営

本会独自のホームページを通じ、会員に即時に身近な情報発信を行った。更新を随時行うため、運営管理については、前年度同様、業者への委託を行った。

(3) 本部及び支部活動促進のためのグッズ製作(当年度支部役員就任者への配布)

当年度就任の支部役員に対し、モチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に、就任記念品の配布を行った。配布に際しては、配布基準に基づき会員間の公平性を担保した。

また、支部役員へ「スポーツ東洋」を配付した。

(4) 社会貢献センター・東洋フィロソフィアアカデミー(公開講座)受講者への補助

甬水会員の文化活動の促進、また公開講座に参加することで会員に大学を知っていただく一助にもなることから、本部より公開講座を受講した会員に対して受講料の全額援助を行った。

(春)58件 161,700円、(秋)33件 119,500円

(5)東洋大学浦水会マスコットキャラクターの選出

浦水会のマスコットキャラクターを6月～9月にかけて公募し、11月に投票にて決定した。
2025年度よりキャラクターを利用した広報宣伝活動を進めていく。

(6)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会等、浦水会主催行事への会員の参加を促進するためのハンドタオルを作成し、支部総会で配布した。

8. 会員情報管理

浦水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理、支部要請の宛名ラベルの作成・提供を行った。また、1～3年生の会員に対し、メール配信も行った。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引き続き支部への協力を依頼する。また、大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき厳密に取り扱っている。なお、浦水会ホームページを大学側ホームページにリンクし、データの更新を随時行っている。

II. 支部事業関係

各支部が主催する行事等については、「支部主催行事等援助金」支給基準により、支援協力した。

(1)支部総会

大学主催の東洋大学懇談会の開催に伴い、地区別懇談会が開催される支部は、原則として支部総会は、同日・同会場で実施した。関東地区の支部、地区別懇談会が行われない支部については、従来どおり支部総会は、別日程で独自開催した。支部会員の総会への出席を促すため、浦水会本部として協力をした。また、懇親会実施に際し、本部からの支部役員獲得の支援として、支部からの申請により参加者一人当たり2,000円の援助を行った。

「支部総会」という名称について、堅苦しく参加し難い印象があるため、2025年度から「全国支部会員交流会」という名称に変え、より多くの会員が気軽に参加できるイメージで案内していくこととなった。

(2)就職説明会・講演会等

NO.	開催日	曜	支 部	場 所	タイトル	事務説明者/講演者
1	6月29日	土	愛知	名古屋都市センター	「現在の就職環境と学生の傾向について」	(株)マイナビ 就職情報事業本部大学広報統括本部 課長 本嶋庸平様
2	6月29日	土	三重			
3	7月6日	土	埼玉東	浦和ワシントンホテル	「聴き上手」になるために	鈴木崇之先生(福祉社会デザイン学部教授)
4	7月7日	日	富山	富山市民会館	東洋大学と富山県との就職協定について	富山県職員
5	7月20日	土	千葉東	ペリエホール	会員向け就職セミナー	(株)エービーシーエデュケーション 山本みどり
6	7月21日	日	埼玉南	ロイヤルパインズホテル浦和	「変化する新時代の就職活動」	(株)エービーシーエデュケーション 山本みどり
7	8月11日	日	長野	ホテルブエナビスタ	「わが子の可能性を引き出す」	(株)デクブリール代表取締役 菊池教泰氏
8	9月22日	日	新潟	新潟市生涯学習センター	マンガ「円了」に描かれた長岡	長谷川琢哉先生(法学部教授)
9	10月20日	日	三重	アスト津 4F 会議室1	保護者のための就活勉強会	(株)リクルート リクナビ副編集長 森田友幸氏
10	10月20日	日	佐賀	メートプラザ佐賀	東洋大学浦水会佐賀県支部会員の集い	佐賀県産業人材課 浦川拓郎氏
11	10月26日	土	多摩	東洋大学白山キャンパス	これからの人生どう生きるか ー現代社会の課題と生き方、井上円了に触れながらー	大坪宏至先生(経営学部教授)
12	2月22日	土	沖縄	那覇市職員厚生会館ホール	国際感覚の豊かな沖縄出身の学生に期待すること ～ 海外留学のすすめ・留意点 ～	かんざわ英進塾 塾長 (沖縄グローバルセンター代表) 官澤治郎氏
13	3月2日	日	富山	富山県総合情報センター	富山県における就職活動の現状など	東洋大学 OB
14	3月16日	日	長野	シャトレーゼホテル長野	長野県就活セミナー&ランチ会	信州U-Iプロジェクト 高橋史樹氏

(3)キャンパス見学会

NO.	開催日	曜	支 部	キャンパス	内 容
1	9月28日	土	城東	朝霞	キャンパス見学、吹奏楽研究部演奏 → 川越散策
2	10月5日	土	静岡	白山	キャンパス見学
3	10月5日	土	埼玉中央	白山・赤羽台・朝霞	キャンパス見学
4	10月26日	土	城北	朝霞	キャンパス見学、吹奏楽研究部演奏、サッカーリーグ観戦
5	11月3日	日	栃木	白山	白山祭
6	11月3日	日	茨城	白山	白山祭
7	12月14日	土	群馬	朝霞	キャンパス見学、吹奏楽研究部演奏 → サイボクハム → 川越散策

(4)学生支援・研修会

NO.	開催日	曜	支 部	内 容(タイトル)等	場 所
1	5月11日	土	神奈川	山梨日帰りバスツアー親睦会	山梨県大石公園
2	5月26日	日	長野	飯縄高原の古民家で陶芸体験&戸隠そば満喫	長野市上ヶ原周辺
3	6月16日	日	徳島	新入生向け交流会(ランチ会)	パークウエストン徳島
4	6月29日	土	城北	劇団四季「美女と野獣」観劇	舞浜アンフィシアター
5	9月7日	土	茨城	文楽鑑賞教室バスツアー	新国立劇場
6	9月7日	土	神奈川	役員定例会及び見学会(昼食懇談会)	横浜市西区地区センター小会議室
7	9月21日	土	多摩	ブロードウェイミュージカル「プリティ・ウーマン」観劇	立川ステージガーデン
8	9月22日	日	城北	天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権応援	等々力陸上競技場
9	9月28日	土	中央	劇団四季「アラジン」観劇&懇親会	四季劇場[海]
10	10月6日	日	福島	おしゃべりカフェ in 会津	会津稽古堂
11	10月14日	月	広島	出雲駅伝応援	島根県出雲市
12	10月14日	月	山口	出雲駅伝応援	島根県出雲市
13	10月19日	土	群馬	関東大学ラグビー戦 東洋大学 vs 東海大学 観戦	森エンジニアリング桐生スタジアム
14	10月26日	土	埼玉東	栃木日帰りバス研修旅行	栃木県
15	10月27日	日	宮城	第42回全日本大学女子駅伝応援及び支部交流会	やちよ仙台東口店
16	11月2日	土	城西	哲学堂公園日帰り研修	中野区松が丘
17	11月3日	日	岐阜	第56回全日本大学駅伝 沿道応援	熱田神宮 西門付近
18	11月3日	月	愛知	第56回全日本大学駅伝 沿道応援およびTV観戦・応援	熱田神宮 西門付近
19	11月3日	日	三重	第56回全日本大学駅伝 沿道応援	伊勢神宮内宮・宇治橋前
20	11月10日	日	群馬	白山キャンパスと繋がるお茶会 ～就職フォーラムオンライン上映会～	前橋商工会議所
21	11月16日	土	埼玉中央	劇団四季ミュージカル『アラジン』鑑賞&ランチ懇親会	四季劇場[海]
22	11月17日	日	千葉西	ものまねショー観劇&ピュッフェ	そっくり館キサラ(新宿)
23	11月23日	土	岡山	会員親睦研修旅行	ホテルアネシス瀬戸大橋、四国水族館
24	11月24日	日	城北	ラグビー観戦&日帰りバス研修	①埼玉県立川の博物館 ②花園フォレスト ③熊谷スポーツ文化公園ラグビー場
25	11月30日	土	埼玉北	山梨県勝沼庭園河口湖忍野八海を巡るバス研修親睦旅行	山梨県勝沼市及び河口湖町
26	11月30日	土	多摩	関東大学アイスホッケーリーグ戦応援	東伏見ダイドードリンコアイスアリーナ
27	11月30日	土	北海道	北海道地区歓迎交流会	札幌市中央区

28	12月1日	日	中央	「お〜いお茶ミュージアム」上級煎茶のお茶入れ体験+懇親会	お〜いお茶ミュージアム(東新橋)
29	12月7日	土	城東	よしもとお笑いライブ鑑賞と親睦昼食会	ヒルトン東京、ルミネ the よしもと
30	1月2・3日	木 金	神奈川	第101回箱根駅伝沿道応援	神奈川県内
31	1月3日	金	埼玉中央	箱根駅伝復路「生」応援	日比谷通り
32	1月3日	金	埼玉東	第101回箱根駅伝応援	日比谷花壇前
33	1月3日	金	埼玉南	第101回箱根駅伝 復路10区沿道リアル応援	日比谷花壇
34	1月3日	金	城西	箱根駅伝復路10区応援と軽食	日比谷花壇前
35	1月3日	金	中央	第101回箱根駅伝沿道応援&ランチ会	日比谷花壇
36	1月3日	金	城北	パブリックビューイング(箱根駅伝)	ふれあい会議室 田町 No.44
37	1月19日	日	千葉西	貸切バスで行くイチゴ狩りと懇談会	茨城県常総市
38	1月25日	土	宮崎	ボーリング大会&甫水会と井上円了先生を学ぶ講話を聴く会	宮崎エースレーン・談話室
39	1月26日	日	多摩	伝統芸能&昼食懇親会	調布市グリーンホール
40	2月1日	土	城東	寄席鑑賞と屋形船懇親会	浅草演芸ホール、山田屋
41	2月9日	土	茨城	劇団四季「美女と野獣」観劇&懇親会バスツアー	舞浜アンフィシアター
42	2月16日	日	中央	ボーリングと屋形船 懇親会	品川プリンスボーリングセンター
43	2月16日	日	神奈川	劇団四季「アラジン」観劇と懇親会	四季劇場[海]
44	2月22日	土	千葉東	房総日帰りバスツアー	千葉県内
45	2月22日	土	静岡	ランチ懇親会	ホテルグランヒルズ静岡
46	2月23日	日	佐賀	第72回公認鹿島祐徳ロードレース大会応援	祐徳稲荷神社周辺
47	2月24日	月	福島	日帰りバス旅行	栃木県大田原市方面
48	3月1日	土	城西	茨城バス研修	アサヒビール茨城工場、めんたいパーク大洗
49	3月2日	日	大分	ランチ懇親会	大分セントリーホテル李白
50	3月8日	土	多摩	懇親会&よしもとお笑いライブ鑑賞	ヒルトン東京、ルミネ the よしもと
51	3月15日	土	埼玉南	横須賀ストーリーバスツアー	横須賀
52	3月15日	土	城北	歌舞伎鑑賞会と親睦会	歌舞伎座
53	3月16日	日	栃木	劇団四季「美女と野獣」観劇&ランチ 舞浜バスツアー	舞浜アンフィシアター
54	3月20日	木	兵庫	高校野球 春の選抜応援	阪神甲子園球場
55	3月22日	土	徳島	徳島県支部会員懇親会	阿波ダイニング光 hikari
56	3月23日	日	千葉西	マジックバー&懇親会	マジックバーLOHAS

Ⅲ. 甫水会収支関係

1. 収入について

(1) 甫水会収入: 甫水会費は1学生 年間5,000円

第1部の入学生及び在學生については、大学に委託徴収を依頼した。(留学生は除く)

第2部の入学生及び在學生からは、任意加入として本部が徴収した。

(2) 雑収入 : 預貯金受取利息 等

2. 支出について

(1) 事業費

- ① 本部関連事業の主要行事である、会報・しおり発行、支部総会、会員の集い・就職フォーラム等については大学の関連部署と協働を図り、予算を執行した。
- ② 支部関連事業の支部主催行事についても規程に準じて援助し、各支部の活性化を図った。
- ③ 学生協力費については、前年度どおり本会の目的に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助金を大学の関連部署と連携して支給した。
- ④ 2024 年度新規施策事項(Mew プロジェクト等)については、必要な経費を執行した。

(2) 管理費

- ① 会議費は、各会議等に要する旅費交通費等であり、超過していく模様である。
- ② 通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。
- ③ 人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出した。
なお、事務局嘱託職員の夏季及び冬季手当については、年度ごとに労働契約で決定となっていることから、2024 年度は、夏季 9 月に 2 ヶ月分、3 月冬季に 2 ヶ月分支給した。
- ④ 予備費については、緊急支出としての措置を行った。

(3) 特定資産取得支出

次回の周年事業に向けての準備積立金として 100 万円を特定資産とした。

浦水会収支関係

浦水会費 5,000 円

	会員数	収入
第 1 部	26,301 名	131,505,000 円
第 2 部	358 名	1,790,000 円
合計	26,659 名	133,295,000 円

2024 年度会計報告

2024 年度一般会計決算報告書（自 2024 年 4 月 1 日～ 至 2025 年 3 月 31 日）

■ 貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)	(18,727)	(流動負債)	(2,605)
現金	0	未払金	1,017
普通預金	18,674	前受金	175
郵便振替	53	預り金	1,413
(固定資産)	(6,000)	正味財産の部	
浦水会記念事業積立金	6,000	次年度繰越金	16,121
		特定資産次年度繰越金	6,000
合計	24,727	合計	24,727

■一般会計収支計算書

自 2024 年 4 月 1 日～至 2025 年 3 月 31 日

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
雨水会費収入	133,295	事業費	106,194
雑収入	0	管理費	30,093
投資活動収入	-	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	20,114	次年度繰越金	16,121
合計	153,409	合計	153,409

【2025 年度事業計画】

はじめに

東洋大学は、教育・研究の質を向上させ、新たな時代を担う人材を育成するために、学部・学科の再編やキャンパスの移転を進めています。2024 年度は、生命科学部、食環境科学部及び理工学部生体医工学科を朝霞キャンパスに移転しました。さらに 2026 年度以降、川越キャンパスでの改革を計画しています。

東洋大学雨水会は、1959 年 1 月「子女の善意と知性の伸長、健康の保全等を通じ、大学に協力して学生生活の充実を図り、父母相互の親睦と連帯の責任感によって、子女の将来に希望と幸福をもたらすことを念願する」という趣旨をもって設立されました。雨水会は、東洋大学の掲げる目標及び事業を支援し、これまでと同様に大学との「協働」「連携」を図りながら、事業を展開してまいります。

2025 年度についても、より多くの会員が参加できるような各種イベントの事業を計画します。

以下、2025 年度雨水会事業計画の概要を説明いたします。

I. 本部事業関係

1. 本部で実施する「諸会議及び行事」

(1) 評議員会

常任理事及び全国各地の支部長と 1,000 名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第 21 条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例として年 2 回 5 月及び翌年 2 月に開催する。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年 2 回 11 月及び翌年 4 月に開催する。

(3) 常任理事会

原則として、毎月 1 回開催する。(Web 開催含)

本会運営の基本的業務について、評議員会・理事会等で決定した事業計画に基づき、円滑に執行する。

(4) 常任理事会内委員会(メール・Web 開催)

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。

(5) 役員選考委員会(Web 開催)

次期役員候補者を全国の各支部より推薦いただき、12 月に役員候補者面談(Web 開催)を行い、翌年 1 月に開催する。

(6) 地区別支部長会議

全国 10 地区において本部主催で、本部・支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議を翌年 2 月に実施する。

(7) 雨水会全国支部長研修会

本部主催で全国各地の支部長の参加による会議及び実務研修を 9 月に開催する。

(8) 東洋大学懇談会での協働

大学主催による東洋大学懇談会の実施に際し、甫水会本部及び各支部が実施運営に協働(協力支援)することを本部事業の一環とする。

東洋大学学部別懇談会の実施については、学生が在籍する各キャンパス(白山、川越、朝霞、赤羽台)で6月に実施する。教職員による履修・成績相談の他、個別面談(9月 Web 含む)を実施する。学生生活及び就職支援や留学支援体制については、全体説明後、個別にも相談を受け付ける。2025年度は、関東地区以外の各支部の会員について、大学状況や就職支援体制説明を全国14会場にて6月～8月に実施。実施の可否については、3月中までに決定し、5月上旬に通知予定。

(9) 会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、大学生の就職状況の情報を提供することを目的とし、年1回11月に実施する。講演実績のあるコーディネーターに依頼し、就活時の親としての接し方等について講演する。就職講演終了後、卒業生にご協力いただきパネルディスカッションも実施する。

また、学生の課外活動の発表の場として、学生団体の活動の様子を父母へ披露する。

当日の様子は動画撮影を行うため、支部で上映イベントを開催する場合は、別会場への同時配信を可能とする。後日、ホームページ上で期間限定でオンデマンド配信する。

なお、遠隔地支部会員の参加者については、規定額の交通費を補助する。

2. 甫水会費の徴収・支部運営費の交付

(1) 甫水会費の徴収(13,300万円)

甫水会費は、1部学生については大学に委託徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については任意加入とし、本部において徴収する。

(2) 支部運営(3,350万円)

① 支部運営費は、支部所属会員数1人当たり1,000円を乗じて算定する。さらに、会員が1,000名未満支部については、10万円を加算し、本部から年1回6月に各支部に交付する。

さらに、会員数200名未満支部については、5万円の増額援助を行う。

なお、2026年度からの運営費については、前年度末の残額証明書を基に、6月初めの学生数により算出される運営費と前年度からの繰越金の差額を支給することとする。

② 支部運営費については、主に講演会、校舎見学等支部開催事業(支部行事)に対して充てられるものとする。支部会員全体を対象とした支部主催行事で就職説明会、文化・体育活動の応援会、演奏会、また、父母・保護者間の連携を密にするための研修会、交流会等を開催する場合、支部からの申請に基づき行事毎に10万円の範囲内で年度2回を上限に援助する。

3. 学生支援諸制度

(1) 奨学生制度(1,000万円)

① 家計急変者対象(従来の甫水会奨学金)

東洋大学独自の奨学金申請が間に合わなかった学生で、急な支援を要する場合。

② 経済支援奨学金 ※大学と協議のうえ実施する。

(2) 学生の課外活動促進(100万円)

全キャンパスの学生団体を対象として検討する。

① 学生の課外活動に係る支援及び表彰

学生部と連携して、学生団体及び個人の活動を対象とし、顕著な活動が認められ大学から特段の要請があった場合に広く援助又は表彰する。

② 文化系サークル活動促進援助

本学の運動部以外の文化系サークル活動に関して、全国の地方都市で行われる大会や発表会への参加等、地方における課外活動の促進を図るために援助を行う。

③ 正課外教育活動参加促進援助

正課外教育について、全学的な関心と参加促進を図り、大学が指定するイベントに参加する学生に対して援助を行う。

④ 学生団体による応援・広報活動の支援

応援や広報活動等を行っている公認学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入費用等を支援する。

(3) 学生の学食支援(500 万円)

全キャンパスを対象とした学食での金額補助を行う。

(4) 東洋大学社会貢献センター学内講座甫水会援助制度(220 万円)

2016 年度より開設の東洋大学社会貢献センター学内講座実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給する。支給にあたっては、他学部との褒賞金とは重複しないものとし、予算の範囲内で支給する。

(5) 弔慰金制度(80 万円)

不測の事故等で会員、会員の配偶者および学生が死亡した時、その遺族に対して弔慰金を支給する。

(6) ToYo-MeW プロジェクトへの援助(200 万円)

SDGs にジェンダーの平等が掲げられ、女子学生への「生理の貧困」を援助するため生理用品無償配布する事業に対して補助をする。

4. 就職関係

就職関連講演会等の実施

本部または各支部で実施する就職関係講演会等行事については、6 月から実施する東洋大学懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討する。

行事内容の策定及び講演者の選定については、父母のニーズに合致しているか等効果を考慮するとともに、実施に際しては、甫水会事務局を通じて大学における就職・キャリア支援部の意見及び推薦を踏まえることとする。

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1) 東洋大学懇談会および甫水会全国支部交流会同日開催に伴う経費

2015 年度より大学主催の東洋大学懇談会の実施に際し、甫水会本部と各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働(連携・支援・協力)体制とする。特に、全国会場で実施する、東洋大学地区別懇談会ならびに甫水会全国支部交流会の実施経費のうち、会場費等については、大学事務局との協議の上、予算の範囲内で甫水会が負担する。(1,200 万円)

(2) 「井上円了が志したものは」に対する援助(50 万円)

井上円了記念学術センター内の実行委員会に本部役員が構成員として任用されており、実施企画について、その運営費の一部を援助する。

(3) 卒業記念(300 万円)

卒業式当日、各キャンパスにフォトスポットを設置する。

(4) 全学的な行事に対する援助(220 万円)

既存の 4 校舎における大学祭(白山祭(白山)、こもれび祭(川越)、霞祭(朝霞)、WELLB・HELSP0-FES(赤羽台))について、援助金を支給する。

(5) 学部行事等(ゼミナール単位での取組含む)に対する援助(10 万円)

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甫水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給する。

(6) 会長施策重点支援事業(100 万円)

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出するものとする。

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する祭事等に、甫水会代表者を派遣する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施する。

(1) 甫水会本部発行物

- ① 全会員対象の「会報東洋」-----年 1 回(2025 年 5 月発行予定)
- ② 本部役員及び支部長対象の「甫水会ジャーナル」-----年 2 回(2025 年 4 月・10 月発行予定)

(2) 甫水会ホームページの運営(250 万円)

本会独自のホームページを 2018 年度創立 60 周年記念事業の中で新規開設。東洋大学ホームページとのリンクを確保して、甫水会と大学との情報の共有化を図ると共に甫水会ホームページにおいて、各支部で行事計画及び報告を紹介するなど、支部内及び支部間の情報の共有化により、支部活動の活性化を図る。会員に対し、いち早く身近な情報を発信できることから、業者に運営管理を委託する。

(3) 本部及び支部活動促進のためのグッズを作成(当年度支部役員就任者への配布)

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に作成する。配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底すると共に、配布基準に基づき会員間の平等性を確保する。また、支部役員就任者へスポーツ東洋を年数回配付する。(150 万円)

(4) 社会貢献センター・東洋大学フィロソフィアアカデミー（公開講座）受講者への補助

会員の文化活動の促進、また公開講座に参加することで会員に大学を知っていただく一助になることから、公開講座を受講した会員に対して受講料全額の補助を行う。(80 万円)

(5) 会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策(300 万円)

全国支部会員交流会等甫水会主催行事への会員の参加を促進すべくグッズを配布する。内容は、応援グッズなど支部活動促進に資するものとし作成する。可能であれば大学と協働で作成して、効率的な作成を図り、併せてコストの低減を図る。

(6) 甫水会マスコットキャラクターの活用

2024 年度に公募で選出された甫水会マスコットキャラクターをホームページや製作するグッズ等に活用し、甫水会活動の認知度向上を目指す。

8. 会員情報管理

甫水会本部では、大学の学生情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014 年度からは、卒業生・甫水会連携推進課に依頼することとなり、また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力をお願いしたい。大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。

メールアドレスの利用に関しては、本部で支部毎のメーリングリストを作成し、各支部会員にイベント案内等を行うことで、郵送代の節約につなげ、支部活動を活性化に役立てる。

9. オンライン会議の積極的な活用

常任理事会や理事会・役員選考委員会なども Web 会議を積極的に活用し、予算削減を図る。

10. 事務局管理の銀行口座に紐付いた子口座の開設

各支部において、支部長または会計担当者の変更に伴い銀行口座の名義変更手続きが発生し、変更時の手間が問題となっている。煩雑な作業を解消するため、事務局管理の銀行口座に繋がっている子口座を利用することで、引継ぎ業務の軽減を図る。

II. 支部事業関係

各支部が主催する行事等については、「支部主催行事等援助金」支給基準に基づき援助を行う。

各行事等の名称と実施手続き等については次のとおり。

(1)全国支部交流会

2015 年度より実施している東洋大学懇談会開催に伴い、大学主催の地区別懇談会が開催される支部については、原則として全国支部交流会開催は、同日の同じ会場で実施する。

また、その他の支部については、従来どおり全国支部交流会は別途、別日程で独自開催する。

2025 年度についても、全国支部交流会への出席率を上げるため、交流会で利用できるよう大学説明、就職支援の動画映像を製作する。

(2)就職説明(懇談)会

各支部で、就職説明(懇談)会を計画した場合は、「甬水会支部関係業務等処理手順」を確認の上、甬水会事務局へ申請書を提出する。支部からの開催要望に基づき、大学側と調整し支部へ報告する。

(3)校舎見学会

4 校舎の東洋大学学部別懇談会時及び本部主催事業「会員の集い・就職フォーラム」(白山校舎)の実施に際して、校舎見学を実施する。支部単位での個別の校舎見学についても受付けることとし、校舎案内者を派遣依頼要請する関係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請を受付ける。

赤羽台キャンパスについては、WELLB HUB-2・HELSP0 HUB-3 のみ校舎見学を受付ける。

(4)講演・研修会等

講演・研修会等の講師について、東洋大学の教職員を講師として希望する場合、支部からの申請に基づき、本部にて担当課と調整の上派遣する。

Ⅲ. 甬水会収支関係

1. 収入について

2025 年度の甬水会費は、第 1 部の入学生及び在学生から大学に委託徴収を依頼している。

甬水会費 5,000 円、留学生は除く。(26,000 名)

第 2 部の入学生及び在学生からは、任意加入として本部が郵便振替で徴収する。(300 名)

2. 支出について

(1)事業費

① 本部関連事業の主要行事である、全国支部会員交流会、会員の集い・就職フォーラム、会報発行等については大学の関連部署と協働を図り、予算を執行する。

② 支部関連事業の支部主催行事についても規程に準じて援助し、各支部の活性化を図る。

③ 学生協力費については、前年度どおり本会の目的に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助金を大学の関連部署と連携して支給する。

④2025 年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

(2)管理費

① 会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。

② 通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。

③ 人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。

なお、事務局嘱託職員の夏季及び冬季手当については、年度ごとに労働契約で決定するものとし、2025 年度は、夏季及び冬季一時金として 4.5 ヶ月分を計上した。

④ 2025 年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

⑤ 予備費については、緊急支出として措置する。

(3)特定資産取得支出

周年事業に向けての準備積立金 100 万円を計上する。

2025 年度予算書

■2025 年度一般会計収支予算書

自 2025 年 4 月 1 日～ 至 2026 年 3 月 31 日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
雨水会費収入	133,270	事業費	101,900
雑収入	0	管理費	31,370
投資活動収入	-	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	16,121	予備費	10,000
		次年度繰越金	△5, 121
合計	149,391	合計	149,391

以上